

日本気球連盟公認

第21回 岩出山バルーンフェスティバル

日時 11月10日(金)・11日(土)・12日(日)

場所 岩出山江合川あったか河川公園

10日(金)

- 6:10 開会式
- 6:30 競技飛行開始
- 7:30 係留気球体験試乗(先着100人)
- 8:00 パワードパラグライダーデモフライト
- 14:00 競技飛行開始

11日(土)

- 6:30 競技飛行開始
- 7:30 係留気球体験試乗(先着200人)
- 8:00 パワードパラグライダー東日本大会
- 11:00 小型飛行機デモフライト
- 14:00 競技飛行開始

12日(日)

- 6:30 競技飛行開始
- 7:30 係留気球体験試乗(先着100人)
- 8:00 夢ふうせん大空飛行
- 10:00 ノスタルジックCAR in 岩出山
※JAいわてやまメルカド四季彩館前
- 12:00 ラジコン飛行大会
- 14:00 小型飛行機デモフライト

◎ 岩出山バルーンフェスティバル実行委員会(岩出山総合支所産業振興課内) ☎72-1215



※係留気球体験試乗は、各日とも午前6時30分から、先着順で試乗整理券を配布します。※競技飛行及び係留気球体験試乗は、気象条件などにより中止になる場合がありますので、あらかじめご了承ください。

平成18年度 移動市長室

おおさき宝探し未来トーク in 鹿島台参加者募集

12月1日(金) 午後1時～3時
鹿島台総合支所2階 大会議室

対象 まちづくりに関心のある鹿島台地域内の団(サークル)及び個人
締切り 11月13日(月) 必着
※詳しい募集内容等は、鹿島台地域内の各家庭に配付したチラシをご確認ください。また、申し込み多数の場合、公開抽選を行います。
申込み問合せ
〒989-4192 大崎市鹿島台平渡字上戸下26番地2
鹿島台総合支所総務課 ☎56-7111 ☎56-4062
〒989-6188 大崎市古川七日町1番1号
市政情報課 ☎23-5091 ☎24-9595
●ホームページ <http://www.city.osaki.miyagi.jp/>
●Eメール shisei@city.osaki.miyagi.jp



おおさきブランド戦略会議「飛翔会議」を開催します

「飛翔会議」は、本市の豊富な地域資源と民間活力を最大限に活用し、魅力あるまちづくりを推進するため、産業・福祉・教育などのテーマを設けて、有識者やその分野で活躍されている方々に提言などをいただくものです。大崎市のまちづくりはスタートしたばかりです。ぜひ、この機会に大崎市の進むべき方向と一緒に考えてみませんか。多くの皆様のご参加をお待ちしています。
◎ 企画調整課政策調整係 ☎23-2129

●第6回テーマ「おおさき医療・保健・福祉戦略」

日時 11月4日(土) 午後3時～
場所 鹿島台地域 鎌田記念ホール

第6回目は「おおさき医療・保健・福祉戦略」をテーマに、講話と公開ディスカッションを行います。
※参観は、会場のスペースの関係により、先着順とさせていただきます。

第1部【講話】

演題 「医療制度改革とおおさき健康づくり戦略」
講師 東北大学大学院医学系研究科
社会医学講座公衆衛生学分野教授 辻 一郎 氏

第2部【公開ディスカッション】

座長 大泉 一貫氏(宮城大学事業構想学部教授)
提言者 市川 雅朗氏(社会福祉法人理事)
上妻 るり子氏(市民代表)
佐藤 隆雄氏(福祉用具販売・社長)
辻 一郎氏(東北大学大学院
公衆衛生学分野教授)

●第7回テーマ「おおさき人づくり戦略」

日時 11月19日(日) 午後3時～
場所 岩出山地域 スコーレハウス

※座長は大泉一貫氏、提言者は現在調整中。

11月9日(木)～15日(水)は 秋の火災予防週間です

9月末現在、大崎市全体の火災発生件数は昨年と比べ減少していて、鹿島台地域は無火災が続いています。この機会に、7つのポイントをご家族皆さんで確認し火災予防に努めましょう。

◎ 消防防災課消防防災係 ☎23-5144

災害に対し「地域で備え」していますか?

- Q. 地域で何を備えればいいのか?
A. 隣近所・地域住民の協力体制を整えましょう。各地区で立ち上がっている「自主防災組織」は、まさしく災害に備えた住民の組織です。
- Q. 自主防災組織でどんな活動をすればいいのか?
A. まず、それぞれの地区の課題を発見しましょう。そして、その課題に対応した備え・訓練を実施しましょう。

課題とその対応を例示すると

課題例	対応例
避難所まで遠い	地域の集会所を一時避難所とした避難所開設・炊き出し・応急救護訓練を実施する。
高齢者のみの世帯が多い	本人了解の下、支援者カードをあらかじめ作成する。
地区内の危険箇所を把握していない	●防災マップを作成する。(人材・病院・コンビニなどの「強みとなる点」と、川・ブロック塀・細い路地・空家などの「弱みとなる点」を表示する) ●実際に避難所まで歩いて避難訓練を実施する。
昼間は子ども・女性・高齢者だけの家が多い	平日の日中、避難訓練を実施する。
夜間の照明が少ない	夜間に避難訓練を実施する。
狭い路地が多い	●避難所までの広い迂回路を確認しておく。●発災対応型避難訓練(救助、避難訓練)を実施する。

上記のほか、安否確認はどの地域にも共通する課題です。あらかじめの名簿作成、安否確認をするエリアの区分け、災害時要援護者の確認などいろいろな対応が考えられます。また、災害時の被害状況をいち早く把握し、市災害対策本部に伝達することが、早急な応急対策につながります。

クマの被害にあわないように 森のクマからおたよりが届きました



◎ 農林振興課 ☎23-7090
各総合支所産業振興課

※クマを目撃した場合は、各総合支所産業振興課へご連絡ください。

わたしたちクマは、体は大きいけれど、本当は内気でとても怖がりです。そして皆さんと同じように、わが子をとても大事にしています。わたしたちにとって、皆さんはとても恐ろしい存在ですので、なるべく出会わないように気を付けていますが、急に出会ったときはびっくりして、自分の身や子どもを守るために攻撃してしまうことがあります。わたしたちは、主に朝夕の薄暗い時間帯に活動していますので、山に入る際は、なるべくわたしたちと会わないように、鈴や笛、ラジオなどの音の出る物で、常に自分の存在を知らせてください。わたしたちの足跡やフンを見つけたら、引き返すようお願いいたします。

わたしたちは、大きな体を維持するためにたくさん食べなければなりません。山に食べ物が少ないときなど、フラフラと人里まで行ってしまったり、農作物や生ごみ、お墓のお供え物など、一度食べてしまうとなかなかその味が忘れられず、人里から離れることができなくなってしまいます。ですから、農作物はなるべく早めに収穫し、家の周りや畑に食べ物を置かないようにしてください。それと山にも生ごみや食べ残しを捨てていかないでください。

万が一わたしたちと出会ってしまったら、刺激しないようにそっと立ち去ってください。背中を見せたり、走ったり、大声を出したり物を投げたりされると、わたしたちの習性で、反射的に攻撃してしまうことがあります。攻撃は最初の一撃だけで、その後は早々に立ち去りますので、万が一のときは、ダメージを最小限にするためにうつ伏せになり、両手で首をガードしてください。

わたしたちが山で穏やかに楽しく過ごすため、そして、皆さんと出会わないためにも、ぜひ、ご協力をお願いします。

平成18年度大崎地域広域行政事務組合防火ポスターコンクール 最優秀作品



上野目小学校6年
山口紫乃さん